

端午の節句

ゴールデンウイーク、5月5日は子供の日。端午の節句です。子供の健やかな成長と幸福を願い、男の子の成長を祝う伝統行事です。現在は国民の祝日「こどもの日」でもあり、鯉のぼりや兜を飾り、柏餅やちまきを食べて菖蒲湯につかります。我が家でも柏餅を食べ、菖蒲湯につかりましたが、鯉のぼりとなると柱を立て掲げる広さの庭がありません。息子が小さい頃は、鯉のぼりを掲げる場所に出向いて見学し、健やかな成長を願ったものです。

今年もまた、鯉のぼりがニュースになっていました。熊本県の話が並びました。熊本市坪井川の300匹の鯉のぼりや、荒尾市岩本橋の鯉のぼり、長洲町(ながすまち)の金魚と鯉の郷広場にて行われる“まつり”が目にとまりました。全国どこでも子の成長を願う気持ちは変わりません。

さて、我々教員にとって、ゴールデンウイークは、ゆっくりできる時間であると共に、生徒たちの心の変化が気になる時でもあります。生徒は怒涛のように4月が過ぎ、ゴールデンウイークで心休める。

それならば良いのですが、様々なトラブルにまきこまれるに十分な時間があります。そのことも踏まえ、4月25日(土)の公開授業に併せて

JCOMさんを講師に“SNS”教室を開催しました。保護者の皆様にも参加していただき皆で考えました。「画面上の文字からは相手の反応が

感じづらい。」との言葉からスタート。SNSによるやり取りで、“誰かに傷つけられたことがある”と答えた人が13%。ところが“誰かを傷つけたことがある”と答えた人は9%。傷つけられた人よりも傷つけたと自覚する人が少ない傾向にあるのです。続いて、例を示しながら、生徒に考えて

もらう時間がありました。後から「行く」と宣言したCさんに対してBさんが「何でくるの?」と投げ掛けます。「どうしてあなたが来るの。私はAさんとだけ遊びたかったのに。」とBさんがCさんを排除するような悪意に捉えることができます。一方「どんな手段で来るの?歩き?自転車?」とBさんがCさんに、公

園までの交通手段について訊いたとも捉えることができます。相手の表情や声が聞こえない文字だけでは、どちらかはっきりすることができません。受け取る側の事を考えて言葉を選ぶ必要があります。更に、「文字だけでは、言葉がきつくなるのです。」相手の反応が見えない分、エスカレートするのでしょう。その上で「相手が傷つくかどうか、決めるのは自分ではない!!」当たり前である内容ですが、ハッとさせられる言葉です。また、傷つけられるような内容が自分に届いた場合の防御策・トラブル防止策を伝授していただきました。その秘訣は「感情的は負け。だから、その内容を“聞き流す”即ち“スルースキル”を身に付けよう。相手にしない。」ということでした。

相手との関係ばかりではなく、SNS利用による自身への弊害についても語っていただきました。SNS依存症、急性内斜視、脳に受けるダメージ、デジタルタトゥーなど、いつ自身に起きてもおかしくない危険な話です。自分の事として考え続けなければなりません。

前出の長洲町(ながす)、金魚や錦鯉の生産で有名な地域です。実は去年の8月に長洲町を襲った豪雨被害により養殖池が、3万匹以上の金魚や鯉が流出したのです。これは 危機長洲 です。(スルーしないで) 甚大な被害にあったにもかかわらず、今年5月3日4日に“第31回火の国長洲金魚まつり”開催に漕ぎつけました。養殖業者さんたちの並々ならぬ努力の結晶です。

危機長洲 を救ったのは、(またスルー? スルー すぎる)ファンや各地からのお見舞いや励ましの声、それはSNSによるものだといいます。

SNSは相手を傷つける道具ではなく、相手の傷を癒す道具です。



ヤフーニュース 熊本テレビ

